

2023年12月20日

オンラインセミナー「移住・定住のリアル」の開催について ～「千葉・武蔵野アライアンス」提携施策～

武蔵野銀行(頭取 長堀 和正)は、2024年1月25日(木)、千葉銀行(頭取 米本 努)および横浜銀行(頭取 片岡 達也)と、移住・定住に関するオンラインセミナーを開催いたしますので、お知らせします。

本セミナーは、「千葉・武蔵野アライアンス」に基づく提携施策として、千葉銀行が同じく業務提携する横浜銀行とともに3行で取組むものです。

当行では、定住人口や関係人口の拡大を通じた地域活性化に貢献するため、これまで秩父市や横瀬町、小鹿野町など県内自治体と連携した移住セミナーやオンラインイベントを開催してまいりました。また、2023年1月には、「移住・二拠点居住のリアル」と題したオンラインセミナーを3行で開催し、参加者の皆さまより好評をいただいております。

今般のオンラインセミナーはこうした取組みに連なるもので、埼玉や千葉、神奈川の各県への定住・移住やワーケーションへの関心の高まりにお応えしするものです。

具体的には、埼玉県本庄市、千葉県山武市、神奈川県横須賀市の協力のもと、先輩移住者等6名のパネルディスカッションを通じ、リアルな成功談・失敗談などをお伝えするほか、各市の魅力や貴重な情報を発信します。

当行は今後も、地域の皆さまと手を携え地元埼玉県経済・社会の活性化に向けて取組んでまいります。

《概要》

テ — マ	移住・定住オンラインセミナー「移住・定住のリアル」 ～先輩達に聞いてみた!～ in 山武市、横須賀市、本庄市			
日 時	2024年1月25日(木)	14:00~16:00		
開催方法	Zoom Webinarsによるオンライン配信 (YouTubeでのアーカイブ配信も予定)			
定 員	200名	参加費	無料	
内 容	「移住」「定住」「ワーケーション」をトピックスとしたパネルディスカッション			
	登壇者	山武市	なごみ苺苑 代表 福笑屋珈琲 FUKUMIYA COFFEE	浦野 和洋氏 宮嶋 望美氏
		横須賀市	SSS 合同会社 CEO 美術作家	小田 恭央氏 山本 愛子氏
		本庄市	合同会社本庄デパートメント 共同代表 solFlows 代表	榎本 千賀耶氏 大澤 宏充氏
主 催 等	主 催	武蔵野銀行、千葉銀行、横浜銀行		
	運 営	株式会社ちばぎん総合研究所		
	協 力	本庄市、山武市、横須賀市、神奈川銀行		
	後 援	埼玉県、千葉県、神奈川県		

以上

報道機関からのお問い合わせ先
 地域サポート部 地域価値創造室 湯口 貴博・郷 大助
 TEL (048) 641-6111 (代)



移住・定住オンラインセミナー

「移住・定住のリアル」

～先輩達に聞いてみた！～ in山武市、横須賀市、本庄市

千葉県、神奈川県、埼玉県への移住や定住に興味のある方向けのオンラインセミナーです。セミナーでは千葉県山武市、神奈川県横須賀市、埼玉県本庄市の先輩移住者などをゲストスピーカーに迎え、「移住」「定住」に加えて「ワーケーション」をトピックスとしたパネルディスカッションを開催します。

山武市

横須賀市

本庄市



なごみ苑
代表
浦野 和洋氏



福笑屋珈琲
FUKUMIYA COFFEE
宮嶋 望美氏



SSS合同会社
CEO
小田 恭央氏



美術作家
山本 愛子氏



合同会社本庄デパートメント
共同代表
榎本 千賀耶氏



solFlows
代表
大澤 宏充氏

開催内容

日時
内容
開催方法
申込方法

2024年1月25日（木） 14：00～16：00（13:30から「Zoom Webinars」に入室可能）

山武市・横須賀市・本庄市のゲストスピーカーを招いたパネルディスカッション
オンラインセミナーシステム『Zoom Webinars』

以下のURLあるいは右の二次元コードよりご参加ください。

Zoom Webinars「申込期限 2024年1月24日（水）」

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_pj5px9Z0R70h1S3rrlY6uA

※『Zoom Webinars』はZoom Video Communications, Inc.が提供するオンラインセミナーツールです。
※オンライン配信は『Zoom Webinars』を利用します。右上の登録用二次元コードで事前にご登録をお願いします。
※本申込みにおける個人情報は、本セミナーの円滑な運営（参加者の確認）のために利用するほか、共催者・協力者・後援者・運営者が以下の目的に利用いたします。

・商品やサービス等のお申込み受付のため。
・商品やサービス等のご提供に必要なご案内・ご連絡を行うため。
なお、個人情報の取扱いについては、各社ホームページの個人情報保護宣言をご覧ください。

参加費用
共催
協力
後援
運営
コーディネーター

無料（※通信料はお客様ご自身の負担となります。）

(株)千葉銀行・(株)横浜銀行・(株)武蔵野銀行

山武市・横須賀市・本庄市・(株)神奈川銀行

千葉県・神奈川県・埼玉県

(株)ちばぎん総合研究所

(株)ちばぎん総合研究所 専務取締役 松永 哲也

Zoom Webinars用



定員
200名

お問い合わせ先

千葉銀行 地方創生部 宮本・岡安

電話：043-301-8297 Email:hojin3@chibabank.co.jp



浦野 和洋氏のプロフィール

1972年東京都練馬区生まれ。埼玉県所沢市育ち。大学では英米文学を専攻し、1年間カナダバンクーバーに語学留学。卒業後、日本マクドナルド社に入社し6年間の店舗勤務と2年間の本社勤務を経験。退社後充電期間を経て、資格学校で2年間英文会計講師を務めながら会計専門職大学院（MBA）に通学。在学中に資格学校が倒産してしまい、日本公認会計士協会に就職し8年の間に相談・翻訳・研修・広報などを担当。9年前に就農を決意し、千葉県の農業大学の新規就農者研修を受講。修了後、同県山武市でなごみ母苑を開業。自営業を営む傍ら、観光協会理事、エコミックガーデニング理事に就任し、地域活動にも積極的に参加している。独身で8匹の保護猫と生活中。



宮嶋 望美氏のプロフィール

1980年福島県福島市生まれ。大学卒業後、千葉県成田市の動物専門の薬品会社にてルートセールスを2年半経験。退職後、製菓専門学校へ通い飲食業界へ。一旦福島に戻り飲食店で3年程働く。その時の店長から「今のうちから目標を持っていた方がいい」と言われ、移動販売が流行りだしていたこともあり憧れを抱く。そこから東京でキッチンカーのアルバイトを始める。半年ほど経った頃、東日本大震災が発生したことを機に独立。東京や千葉のさまざまなイベントに出店しているうちに山武市でやっていた「山のおんぶ」というイベントの主催者さん界限の人たちと出会う。その人たちから刺激をもらって山武に出入りしているうちに2016年に山武市に移住することに。4年前に海の近くの中古物件を購入し、自宅兼工房としてコーヒーの焙煎を行っている。2022年に山武市内に固定店舗オープン。キッチンカーも並行継続中。



小田 恭央氏のプロフィール

1977年生まれ。大阪府八尾市出身。関西大学を卒業後、富士通に入社。その後コンサルとして独立し、2011年にSSS合同会社を設立。コンテンツ業務は都内での勤務が中心となるが、コロナ禍もありZoom会議でだいたいなんとかできるようになったおかげで、神奈川県横須賀市久里浜に移住。海が見えるマンションでのんびり過ごしている。仕事場は自宅（マンション内の1室を仕事用の部屋にしている）。今住んでいる久里浜は地方都市で都市銀がなくて地味に不便だが、町医者はある程度そろっていて、スーパーなどもあって買い物環境は割と便利。プロフィール写真は近所の海岸で一枚です。



山本 愛子氏のプロフィール

1991年神奈川県横浜市出身。横須賀市在住。東京藝術大学大学院先端芸術表現科修了後、ポーラ美術振興財団在外研修員として主に中国で活動。大学在学中から染色技法を応用した美術作品を発表し、国内外のグループ展や個展に数多く参加。2019年には、中国をベースに国内外の展覧会に参加し、新作を中心に積極的な活動を展開している。2019年、横須賀市のアーティスト村創出事業にて横須賀に移住し、自然豊かな谷戸エリアに住居とアトリエを構えて創作活動をしている。地域の方を対象にしたワークショップを開催したり、学校と連携し染色の授業を行うなどの地域活動も精力的に行なっている。



榎本 千賀耶氏のプロフィール

1986年東京都生まれ、札幌育ち。合同会社本庄デパートメント共同代表。2016年に独立し、個人での建築設計・デザイン業、コーヒーとクリームソーダ屋としてのキャリアをスタート。2019年埼玉県本庄市に移住し、2021年共同代表の早川純と共に本庄デパートメントを設立。たくさんの人を巻き込みながら、拠点「WORK+PARLOR」をオープンし、「自分が暮らす街を誰よりも遊び倒す」気持ちで商店街で暮らしながら働き、楽しい仕掛けを提案・実践している。



大澤 宏充氏のプロフィール

本庄市児玉町出身。東京都で花業界の仕事を経験後、地元の魅力や人とのつながりの素晴らしさを改めて感じ、Uターン移住で地元に戻り、2018年7月に妻の直実さんと2人で「solFlows」をオープン。15年間使われていなかったアクリルハウスを使用し、花や植物だけでなく、地元の作り手によるリネンアイテムやアクセサリー、コーヒー等も扱った店舗経営を行っている。ハウス横にオープンした庭園「コエニワ」は、児玉町での暮らし方や楽しみ方を知りたいお客さまも訪れる場として、さまざまなイベント等を催すことで、児玉町の魅力を発信している。